

平成30年7月11日(水) 12967号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

銅・銅合金は出荷が受入上回る

4月非鉄金属原料取扱量

銅合金は受入・出荷ともマイナス

非鉄金属リサイクル全国連合会

非鉄金属リサイクル全国連合会(六車龍三会長)がこのほど発表した2018年4月の非鉄金属原料取扱統計によると、銅と銅合金はともに出荷が受入を上回り、発生が少なかったことをうかがわせた。

銅の受入数量は前年同月比4.8%増の1万0,126.1トン、出荷は同3.8%減の1万0,795.0トン。月末在庫は17.4%減の7,827.24トンで、月初から95.1トン減少した。

銅合金の受入は20.0%減の5,100.9トン、出荷は25.9%減の6,274.4トンで3月に続いていずれもマイナス。月末在庫は4.3%増の6,824.5トンで、月初より171.5トン増加した。

アルミニウムは、受入・出荷ともマイナス。受入は3.0%減の6,833.6トン、出荷は9.4%減の6,691.2トン。月末在庫は5.1%増加し2,738.2トンで、月初に比べ174.3トン増えた。

18年4月非鉄金属原料取扱状況(単位:トン)

品目	月初在庫	月間受入	月間出荷	月末在庫
銅	7,922.3	10,126.1	10,795.0	7,827.2
	▲26.8	4.8	▲3.8	▲17.4
銅合金	6,653.0	5,100.9	6,274.4	6,824.5
	▲5.1	▲20.0	▲25.9	4.3
アルミニウム	2,563.9	6,833.6	6,691.2	2,738.2
	▲11.5	▲3.0	▲9.4	5.1
その他	5,063.6	7,297.1	6,704.6	4,936.1
	▲13.1	▲42.4	▲36.9	▲30.2

下段は前年同月比(%)、▲はマイナス

その他(被覆銅線、銅・銅合金滓、鉛、亜鉛、ステンレス、錫、特殊合金等、銅分50%以下のもの等)は、受入・出荷とも前年同月比で大幅なマイナス。受入は7,297.1トンで、前年同月比42.4%減、出荷は6,704.6トンで36.9%減少した。月末在庫は30.2%減の4,936.1トンで、月初から127.5トン減少した。

同連合会がまとめた4月の電気銅建値平均価格は77万8,500円で、前月比1万2,800円上昇。電気亜鉛建値平均価格は39万3,000円で同1,400円下落。電気鉛建値平均価格は前月比横ばいの31万6,000円。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)

弊社収録サイトのアドレスが変わりました。

既刊号も順次収録してまいります。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



大紀アルミニウム 環境報告書2018

ゾルバリサイクル インドネシアでの取り組みを紹介

大紀アルミニウム工業所（山本隆章社長）は、「環境報告書2018」をこのほど発行した。2018年版では、アルミニウム二次合金の原料となるミックスメタル（ゾルバ）について、インドネシアに昨年相次ぎ開設した処理施設でゾルバのリサイクル状況の特集で紹介している。

同社のインドネシア拠点では、米国や欧州、豪州からゾルバを輸入している。中国政府が環境政策の観点からスクラップの輸入規制を敷く中、昨年2月に操業を開始したゾルバ選別第2工場では、最大で5,000トンのストックヤードと月当たり1万トンの処理が可能な選別ラインを有している。

入荷したゾルバは、トロンメルでサイズ別に分別。大きなサイズは手選別ラインで、中サイズ以下のものは比重選別ラインで自動選別される。同社は、選別されたアルミニウムの新溶解工場を昨年12月より稼働。新工場では、リジェネバーナー付き双室炉を中国から導入・設置した。バーナーで加熱する燃焼室とスクラップを溶かす溶解室に分かれており、双室炉から排出される廃熱を利用して原料の予熱を行うシステムを採用しており、低燃費で省エネルギーの生産を実現していると説明する。

また、インドネシア拠点では最新の集塵設備も導入しており、周辺環境にも対応した操業を行っているとしている。

山本社長は、インドネシア政府の要請に基づいて事前検品の厳格な実施、分別・選別後に発生する非有価物の処理に最大限の配慮を払い、同僚への貴重な金属資源の輸入を行っている」と強調。今後もゾルバのサプライチェーン育成を進めることが自社にとってのチャレンジであるとの考えを示した。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

- 本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530
- 東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800
- 名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005
- 海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

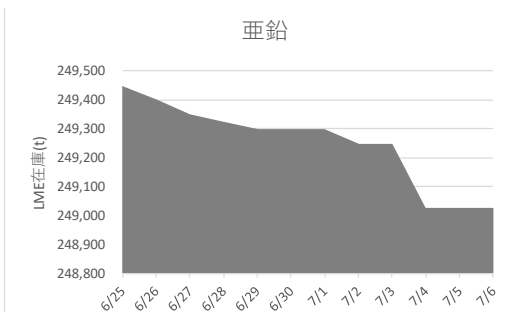
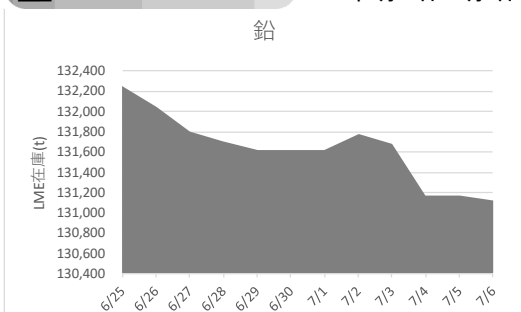


【三菱マテリアル株式会社】（6月27日付）◇環境・エネルギー事業本部企画管理部長（環境・エネルギー事業本部長補佐）新田孝司（7月1日付）◇経営戦略本部経理・財務部IR室副室長（MMCハルトメタル社出向）野田明広◇加工事業カンパニー営業本部直需営業部北関東営業所長（加工事業カンパニー営業本部直需営業部北関東営業所長補佐）小西国夫◇環境・エネルギー事業本部エネルギー事業部長補佐（日本原燃株式会社出向）太田和明◇九州工場燃料リサイクル部副部長、九州工場燃料リサイクル部燃料リサイクル課長継続、岩田暢之◇直島精錬所品質保証室長、直島精錬所安全・環境管理室長補佐継続、石井暁◇三田工場事務部長（三田工場事務部副

部長）葛城俊春【昭和電線ホールディングス株式会社】（7月1日付）◇執行役員新事業開拓部長、昭和電線ケーブルシステム株式会社機能性電線部長継続、大根田進◇執行役員事業戦略本部経営企画部長兼昭和電線ケーブルシステム株式会社経営企画部長（昭和電線ケーブルシステム株式会社経営戦略室長）小又哲夫◇常務取締役事業戦略本部長、張東成◇執行役員事業戦略本部海外事業統括部長（経営企画部長）大竹潔

【昭和電線ケーブルシステム株式会社】（7月1日付）品質・環境管理室長兼輸出管理室長、昭和電線ホールディングス株式会社品質環境管理統括部長継続、牛木雅隆 ※カッコ内は旧職

LME認定倉庫在庫量推移 2018年6月25日～7月6日（現地）



6月の銅マーケットレポート及び7月の見通し (3)

橋本アルミ (株) 橋本健一郎



■概況

【自動車】

4月の四輪車生産台数は77万7,670台で、前年同月比+3.8%となり2カ月連続増加。輸出は34万4875台で前年同月比+7.7%。

【販売】

6月の国内自動車販売台数(軽は除く)は29万2,761台で前年比-7.3%。2カ月ぶり減少。

内乗用車-7.9%、貨物-2.7%、バス-29.3%。

【住宅】

・平成30年5月の住宅着工戸数は79,539戸で、前年同月比で1.3%増となった。また、季節調整済年率換算値では99.6万戸(前月比0.4%増)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で2カ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は減、分譲住宅は増となった。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【伸銅品生産】

伸銅品生産は前年比+2.5%の6万8186t、3カ月ぶり増加。

内需は5万6523t、+2.4%、2カ月連続プラス。

輸出は1万1663t、+3%、5カ月ぶりプラス。

銅条は2万2016t、+3.3%、2カ月連続プラス。

黄銅棒は1万5779t、+0.8%、2カ月連続プラス。

【電線】

前年比+7.4%の5万5000t。

うち国内は+4.6%、輸出が+122.8%。

通信は+0.9%、電力-6.9%、電気機械+4.7%、自動車+8.4%、建設電販+7.2%、その他内需-2.4%。

【輸出】

電気銅輸出が+33%の5万2760t。銅スクラップは+31%の2万9655t。

【輸入】電気銅が-82.4%の600t。スクラップは+5.5%の11743t。

【見通し】

・自動車の生産が+3.8%。国内販売台数が前年比-7.3%。生産が2カ月連続プラス、販売が2カ月連続マイナス。販売が増加に転ずるかどうかが今後注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で+1.3%と増加で2カ月連続プラス。

増加傾向が続くのかどうか今後の動向に注目。

・伸銅品は、3カ月振り増加、前年比-0.6%。需要の多い銅条2カ月連続プラス、黄銅棒は2カ月ぶりプラス、輸出5カ月ぶりプラス。

自動車生産が2カ月連続プラスと改善。連れて伸銅品生産も改善しており今後の動向に注視。

・電線は前年比+7.4%の5万5000t。

輸出が+122.8%。

需要の多い自動車、建設電販がそれぞれ+8.4%、+7.2%。建設電販が2カ月連続プラスに!

・銅輸出は地金、スクラップとも内需低迷や円安から増加。

・銅輸入は大幅円安から地金は減少。代わりにスクラップは増加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は前半月ばごろの建値84万から78万まで下落した過程で放出されておりほとんどでないのではないかと。

需要面に関しては足元の生産状況は足踏み状態にあるが比較的良好。

ここ数カ月メーカーが人手不足問題から地金を優先に使用していることから品費の低いスクラップに関しては購買意欲は薄く飽和状態になるのではないかと?

【価格・為替予想】

今月は米中貿易戦争と鉱山ストの動向に左右される。米中貿易戦争に関しては米ハーレー社の工場海外移転検討などに代表されるように米製造業からも反発の声がでてきており両国間での歩み寄りが出てくるのではないかと?

鉱山ストに関しては、エスコンディータ鉱山の労使交渉に関しては7月中に解決される可能性があるが、時期的にその他のストが起こる可能性があるのではないかと。

これらを踏まえた7月の銅価格は、米中貿易戦争で両国間で歩み寄りが見られ、エスコンディータ鉱山で昨年同様労使交渉が決裂した場合7,200ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状から6,500ドル付近まで下落するとの予想。

為替は、上記材料から、ドル円値は109円~112円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては750-850円程度と予測している。

【「6月の銅マーケットレポート及び7月の見通し」終了】

弊誌収録サイトのアドレスが変わりました。

既刊号も順次収録してまいります。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>





鉛建値7,000円引き下げ32万2,000円

7月の月内建値平均は32万4,000円

三菱マテリアルは10日、電気鉛建値を7,000円引き下げ32万2,000円とすると発表した。2018年7月の月内建値平均は32万4,000円。

10日入電のLME鉛相場のセツルメントが2,357.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは112.06円、この値で換算した採算価格は26万4,100円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万7,900円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□1月	351(4) 344(18)	平均347.3
□2月	344(1) 333(21)	平均340.5
□3月	330(1) 317(7) 308(20)	平均316.0
□4月	316(2)	平均316.0
□5月	316(1) 324(22)	平均319.0
□6月	329(1) 339(7) 329(19)	平均333.0
□7月	329(2) 322(10)	平均324.0

故銅市況

10日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前週末の6,326.00ドルより57.00ドル高の6,383.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,280.50ドルより108.50ドル高の6,389.00ドル。カーブ取引は前日の6,281.50ドル～6,282.00ドルより108.50ドル～109.00ドル高の6,390.00ドル～6,391.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(7月限)は、前日の281.30セントより2.60セント高の283.90セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(7月限)は、前日の4万9,010元より560元高の4万9,570元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の111.49円より0.57円の円安ドル高の1ドル=112.06円。NYカーブLME先物比は11.50ドル高。10日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,383.00ドル。この値と10日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万5,000円より1万円高の75万5,000円。この日、電気銅建値は75万円に据え置かれた。

為替動向

9日から10日午前にかけての外国為替市場で、円相場は1ドル=110円台後半に反落した。

9日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は前週6日の同時刻比0.30円の円安・ドル高、1ドル=110.70円～110.80円だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、6日比0.39円の円安・ドル高、1ドル=110.79円～110.89円で取引を終了した。

ニューヨーク市場では、米中貿易摩擦の悪材料が一巡、米株式市場の上昇で投資家がリスクを取りやすい環境になり、低リスク通貨とされる円の売りが進んだ。米長期金利の上昇で、日米金利差拡大への思惑から円が売られやすい地合いとなった。英国では、欧州連合(EU)との関係をめぐり強硬派の閣僚が相次ぎ辞任。英政局の混乱を嫌気しポンドが対主要通貨で下落、ドル指数が上昇したことがドル円相場にもやや影響した。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、110.43円～110.90円だった。

10日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は1ドル=110.94円～110.97円、前日の17時時点に比べ0.54円

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が611～616、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは592～597、並銅は531～536、込銅(高品位=約97%)は491、セバは479～484。コーベルは要り用筋で470、それ以外は462ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋465、それ以外448～473どころの値頃。並青銅鋳物削粉は461～466どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が614～619、上銅新くずが581～601、普通上銅が548～558、2号銅線が554～564、並銅が519～520、込銅(90-93%)が478～445、下銅が336～386、セバが446～456、コーベルが402～442、黄銅棒地が458～463、黄銅削粉が406～453、黄銅ラジが357～365、交叉ラジが335～346、黄銅銅鋳物が370～377、送りが225～240、上青銅鋳物が471～487、並青銅鋳物が463～476、上青銅鋳物削粉が468～487、並青銅鋳物削粉が461～465どころ。

の円安・ドル高。

9日のニューヨーク市場での株高と米金利上昇がドル買いの支援材料となっており、東京市場でも朝方から円売り・ドル買いが進んだ。円は対ドルで111円に入った後、もみ合う展開となった。

亜鉛くず 現金高価買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会をう

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974



錫建値は50円引き下げ3,600円

7月月内建値平均は3,610円

三菱マテリアルは10日、高純度錫地金(99.99% = フォーナイン)の販売価格を50円引き下げ3,600円とすると発表し、同日より実施した。2018年7月の月内建値平均は3,610円。

直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は改定日)。

2018年

□1月 3,700(4) 平均3,700

□2月	3,800(1)	3,750(20)	平均3,780
□3月	3,750(1)	3,650(16)	平均3,700
□4月	3,650(2)	3,700(16)	平均3,680
□5月	3,750(1)		平均3,750
□6月	3,700(1)	3,750(15)	平均3,730
□7月	3,650(2)	3,600(10)	平均3,610



LME銅は11営業日ぶり反発 株式につれ高も米中の摩擦依然懸念、上値抑える
カーブ取引も反発 COMEX銅相場も8営業日ぶり反発 SHFE相場も反発
LME非鉄相場は概ね堅調 亜鉛は反落 アルミは反発、2,100ドル台回復

10日入電の海外相場は、銅の直物が、LME(ロンドン金属取引所)の公式値ベースで、前週末の6,325.75ドルより56.75ドル高の6,382.50ドル。3か月物も、前週末の6,329.00ドルより55.00ドル高の6,384.00ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前週末の27万5,000トンより約5,000トン減のおよそ27万1,000トン(丸め込み)。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(7月限)は、前週末の281.30セントより2.60セント高の283.90セント。カーブ取引は、前週末の6,281.50ドル~6,282.00ドルより108.50ドル~109.00ドル高の6,390.00ドル~6,391.00ドル。SHFE(上海先物取引所)の銅相場

(7月限)は、前週末の4万9,010元より560元高の4万9,570元。

錫は反発

LME錫相場の直物は、前週末の1万9,412.50ドルより72.50ドル高の1万9,485.00ドル。3か月物も、前週末の1万9,327.50ドルより110.00ドル高の1万9,437.50ドル。

鉛も反発

LME鉛相場の直物は、横ばいの2,356.00ドル。3か月物も、前週末の2,319.00ドルより44.00ドル高の2,363.00ドル。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の直物は、前週末の2,758.75ドルより39.50ドル安の2,719.25ドル。3か月物も、前週末の2,728.00ドルより30.50ドル安の2,697.50ドル。

アルミは反発 アルミ合金は続伸 北米特殊アルミ合金は上伸

LMEアルミ相場の直物は、前週末の2,098.25ドルより37.00ドル高の2,135.25ドル。3か月物も、前週末の2,071.50ドルより34.00ドル高の2,105.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前週末の1,740.00ドルより5.00ドル高の1,745.00ドル。3か月物も、前週末の1,740.00ドルより5.00ドル高の1,745.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前週末の1,697.50ドルより12.50ドル高の1,710.00ドル。3か月物も、前週末の1,720.00ドルより5.00ドル高の1,725.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前週末のおよそ110万6,000トンより約9,000トン増のおよそ111万5,000トン。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(7月前半)

2S=203円~211円、63S=200円~204円、アルミホイール(1P)=195円~200円、ビス付サッシ=149円~153円、エンジンコロ=155円~157円、込合金(機械铸件)=151円~153円、缶プレス(ソフト)=118円~133円。

関西地区(7月前半)

2S=198円~206円、63S=196円~200円、52S=208円~212円、印刷版=201円~206円、アルミホイール(1P)=184円~189円、ベースメタル=208円~213円、機械铸件=155円~160円、ドライ粉=127円~132円、ビス付サッシ=150円~155円、缶プレス=136円~141円。

LME公式値(単位:ドル) / 7月9日(現地)

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,382.50	19,485.00	2,356.00	2,719.25	2,135.25	1,745.00	1,710.00	13,967.50
	前営業日比	56.75	72.50	35.50	▲ 39.50	37.00	5.00	12.50	210.00
先物	公式値	6,384.00	19,437.50	2,363.00	2,697.50	2,105.50	1,745.00	1,725.00	14,067.50
	前営業日比	55.00	110.00	44.00	▲ 30.50	34.00	5.00	5.00	155.00

海外非鉄金属相場

(7月10日 入電・現地 7月9日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with 4 columns: 前買, 場売, 後買, 場売

銅 A G
現物 6382.0 6383.0 6389.0 6391.0
前日比 57.0 108.5
先物 6383.0 6385.0 6393.0 6395.0
出来高 130,731

錫 H G
現物 19480.0 19490.0 19585.0 19635.0
前日比 65.0 165.0
先物 19425.0 19450.0 19525.0 19575.0
出来高 6,256

鉛
現物 2355.0 2357.0 2362.5 2364.5
前日比 36.0 30.5
先物 2362.0 2364.0 2367.0 2369.0
出来高 53,973

亜鉛 S H G
現物 2719.0 2719.5 2749.5 2751.5
前日比 39.5 30.0
先物 2697.0 2698.0 2724.0 2726.0
出来高 125,554

アルミ H G
現物 2135.0 2135.5 2155.5 2157.2
前日比 37.0 42.0
先物 2105.0 2106.0 2126.0 2128.0
出来高 225,343

アルミ合金
現物 1740.0 1750.0 1740.0 1750.0
前日比 5.0 5.0
先物 1740.0 1750.0 1740.0 1750.0
出来高 190

北米特殊アルミ合金
現物 1709.0 1711.0 1700.0 1710.0
前日比 11.0 5.0
出来高 630

ニッケル
現物 13965.0 13970.0 14055.0 14080.0
前日比 210.0 145.0
先物 14065.0 14070.0 14150.0 14175.0
出来高 76,172

NY コメックス相場
出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
銅HG 金 銀 プラチナ パラジウム
7月限 283.90 1258.1 1605.3 849.0 962.10
8月限 284.35 1259.6 1609.2 849.2 962.70
9月限 285.00 1262.8 1613.9 850.8 954.70
10月限 285.95 1265.3 - 853.5 -
11月限 286.75 - - - -
前日比 2.60 3.8 7.2 4.8 7.10
出来高 130,236 260,893 65,016 - 3,514

探算価格
LME (円ベース/キロ)
ドル・円
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル
T T S 6383 19490 2357 2720 2136 13970
112.06 6421 2384 301 345 251 1765
+0.57 + 5678 + 19 + 6 - 2 + 5 + 31

フリー・マーケット

米国生産者価格

銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)H H社 1611.0

NY相場

取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

ロンドン相場(ドル)

金(オンス) 1262.1
アンチモン99.6%(トン) 8000 - 8300
ビスマス99.99%(ポンド) 4.50 - 5.00
カドミウム99.99%(ポンド) 1.30 - 1.35
インジウム99.97%(キロ) 280 - 310
セレンウム99.5%(ポンド) 18.60 - 19.50
スポンジチタン99.5%(キロ) 7.30 - 8.00
フェロモリブデン欧州産(キロ) 26.80 - 27.60
コバルトカソード99.8%(ポンド) 39.50 - 40.20
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2400 - 2600
タングステンAPT(MTU単位) 350 - 355
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 105 - 110

KL T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

相場 (9日) (10日)
出来高 78.38 79.05
ドル建て価格 19400 19720
ODレート 3.7600 3.7600
M\$ / US\$レート 4.0400 4.0088
採算円/キロ 2329 2361
US\$採算円/キロ 2168 2215

LME在庫(トン)

在庫 増減
銅 270,550 ▲ 4,925
錫 3,285 55
鉛 130,600 ▲ 525
亜鉛 251,950 2,925
アルミ 1,115,250 9,275
アルミ合金 12,100 0
北米特殊AL合金 158,480 ▲ 1,940
ニッケル 265,542 ▲ 1,326

コメックス銅在庫(トン)

222,833 177
上海在庫(トン) 銅 258,678 ▲ 5,290
アルミ 932,815 ▲ 3,379
亜鉛 74,935 ▲ 6,374
鉛 7,140 ▲ 326

NYカーブ

銅 6404.00 ~ 6405.00 96.50
アルミ 2102.50 ~ 2103.50 17.00

上海相場

トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛
7月限 49570 14020 22440 20605
8月限 49430 14080 22245 19620
前日比 560 80 350 ▲ 120
出来高 34010 14420 7990 3190

為替相場
LME (円ベース/キロ) COMEX 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
T T S 6383 19490 2357 2720 2136 13970 284 49570 14020 22440 20605
112.06 6421 2384 301 345 251 1765 746 838 237 379 348
+0.57 + 5678 + 19 + 6 - 2 + 5 + 31 + 9 + 8 + 0 + 6 - 2

非鉄金属製品相場

(7月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	970	1000	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	980	1010	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1140	1200	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1160	1180	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	840	860	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	950	990	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	960	980	アルミ箔0.007ミリ	945	1005
銅線0.9ミリ	1030	1060	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	950	1000	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1230	1220	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	830	850	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	850	850	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	1000	1050	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1380	1320	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1375	1375	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	690	690	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	730	720			
四角棒	760	750	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	740	730	白金(グラム)	◎ 3384	
ネーバル	830	830	パラジウム(グラム)	◎ 3807	
高力	830	830	金(グラム)	◎ 4897	
黄銅線6ミリ	1025	1055	銀(キログラム)	◎ 65120	
黄銅平角線ロール仕上	1230	1270			
黄銅条1.5×100	815	845	レアメタル輸入価格	5月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1980	1960	金属ケイ素(99.99%未満)	256	
〃 バネ用0.3ミリ	2200	2170	モリブデン酸化物	2193	
リン青銅棒25ミリ	2240	2250	タンタル	35353	
リン青銅線3ミリ	2420	2400	マグネシウム	260	
洋白板一般用1.0ミリ	2860	2810	コバルト	9650	
〃 バネ用1.0ミリ	3030	2990	インジウム	34604	

合金鉄	5月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	147
〃 その他	176.9
フェロシリコン55%以上	160
フェロクロム4%以上炭素含有	161.7
フェロモリブデン純分60%以上	2124
フェロバナジウム	5676
フェロニッケル33%未満	432.7
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金	7月2日改定	銅合金地金	7月2日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪 東京
1種	2770	BC 1種	855 -
2種	2695	2種	1030 -
3種	2620	3種	1075 -
4種	2315	6種	915 -
5種	2240	7種	950 -
7種	925	YBSC 3種	770 -
8種	835	LBC 3種	1035 -
9種	755	PBC 2種	1095 -

